



mitsui & co.

Chemicals 化学品

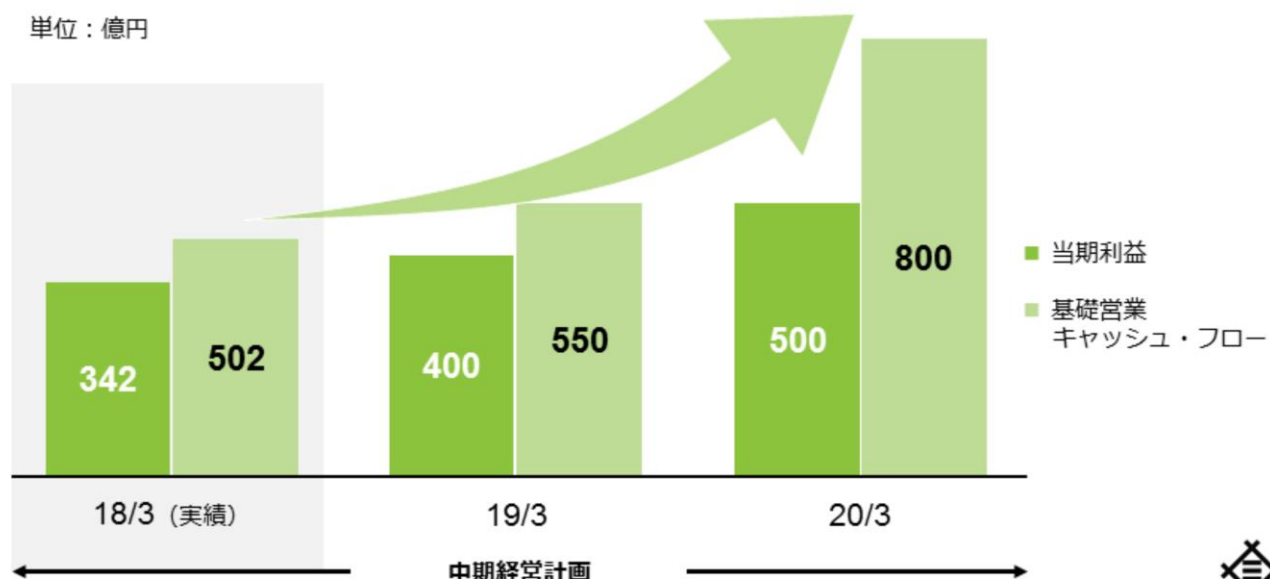
上野 佐有

ベーシックマテリアルズ本部

Copyright © MITSUI & CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

定量目標／実績 当期利益／基礎営業キャッシュ・フロー

単位：億円



Copyright © MITSUI & CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

2



2018年3月期の業績は、米国税制改正の一過性要因はあるものの、メチオニン市況下落によるNovus社の減益に対して、トレーディング、及び、メタノール等その他事業によってカバーし、セグメントとして基礎収益力が向上。

中期経営計画目標達成に向けて、更に各種案件の良質化・果実化、事業プラットフォームの拡充を加速。

環境認識



産業と産業との結節点での
新たなビジネスチャンス

素材・化学品による産業的
解決への市場ニーズの高まり

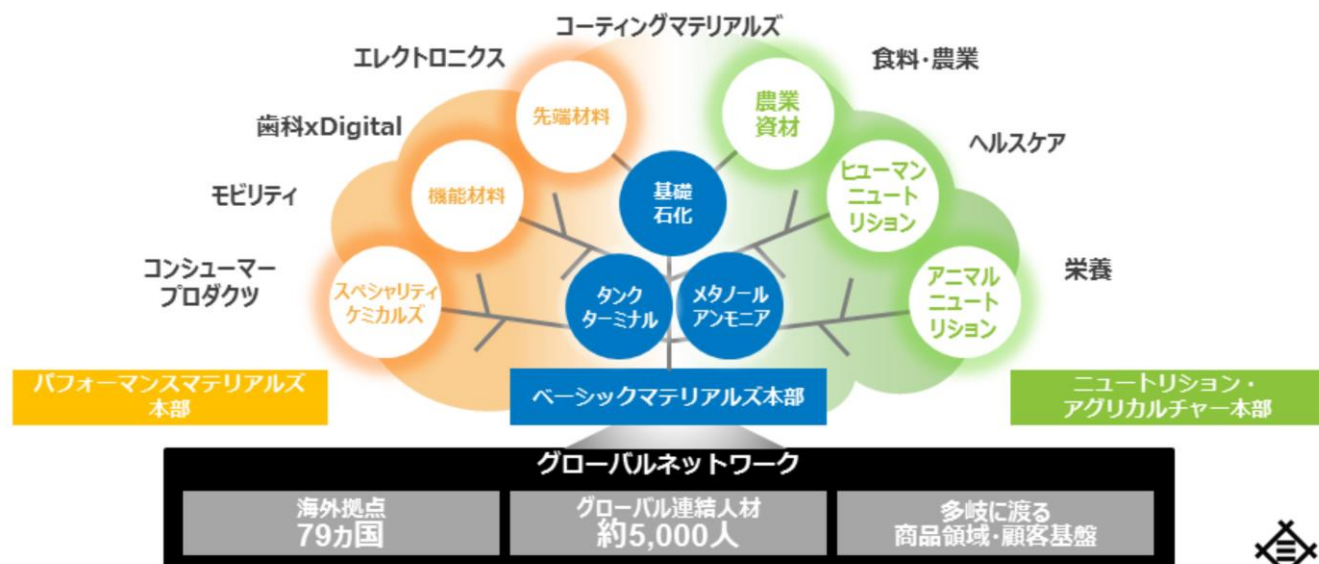
時代の潮流の中で、産業構造がこれまで以上に複雑化。

産業と産業との結節点で新たなビジネスチャンスが存在、また素材・化学品による産業的解決への市場ニーズが一層高まる。

あらゆる産業と接点のある化学品セグメントはこの機会を捉える。

競争優位性

産業の結節点から事業領域や産業の枠を超えて、化学の力で新たなビジネスを創出する

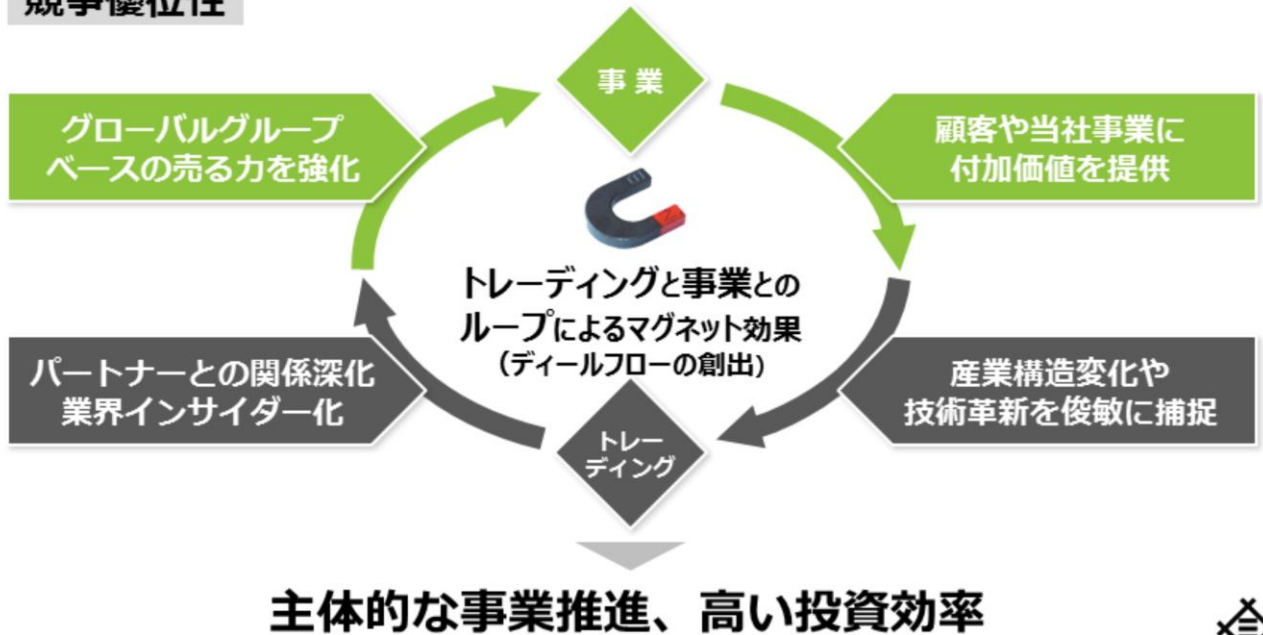


当社化学品セグメントは三本部体制で機動力ある経営を推進。

ベーシックマテリアルズ本部は、業界動向を捉え、国内外のパートナーシップを強化し、ディールフローに繋がる存在感のあるトレーディングや事業を行う。

パフォーマンスマテリアルズ本部は、時代の潮流を捉え新素材のR&Dにも関わり、素材の高機能化を通じた新しい価値を創造する。

ニュートリション・アグリカルチャー本部は、食と農、健康と栄養の観点から事業を展開する。

競争優位性

Copyright © MITSUI & CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

5



ネットワークや顧客基盤をベースとしたトレーディングや事業を通じて、新たなビジネスの機会を引き寄せるマグネット効果で成長する。

主体的に事業を推進するケースも多く、高い投資効率を生む。

投資性資産から得られる純利益率はセグメントで約6.5%水準まで向上、今後成長領域への新規投資が巡航速度に到達した後は8%レベルまで上昇。

基本戦略

- 01 ボルトオン投資の実行
- 02 トレーディングの高度化
- 03 新たな成長機会の取り込み

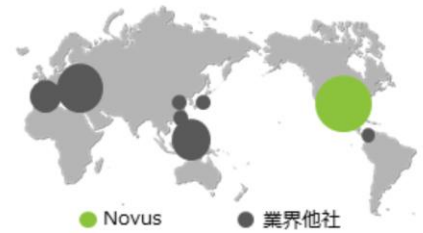
1 ボルトオン投資の実行

アニマル
ニュート
リション

◆ NOVUSメチオニン事業強化

- 堅調な需要増（6%/年）
- 米国でのトップシェア及び立地／形状の優位性
- 製造設備の拡張計画を推進中

【メチオニン製造拠点図】



◆ スペシャルティ事業拡大

Copyright © MITSUI & CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

7



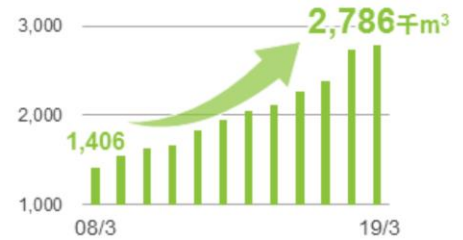
アニマルニュートリション事業については、Novusメチオニンの製造能力拡大を通じた事業強化。主要市場である米国内に工場を保有することの立地優位性や、商品形状が液体であることによる顧客側でのハンドリングのし易さ等、構造的な強みあり。

有機ミネラル、酵素等のスペシャルティ事業の開発及び販売を加速。

1 ボルトオン投資の実行

タンク
ターミナル
事業

- ◆ 立地優位性・高い安全管理体制
- ◆ シェールの競争力を背景とした米国からの石油・石化製品の輸出増加
- ◆ 規模は10年で約2倍に拡張
更なる拡張計画推進



Copyright © MITSUI & CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

8

タンクターミナル事業については、2018年3月期米国税制改正の影響を除いても増益。

米国シェールの競争力増加による石油・石化製品の輸出増、欧州では米国や中東等の域外からの流入が増加の見通しであり、タンク需要は高まっている。

長年かけて確立してきた安全管理体制を維持・強化しつつ、拡張計画を着実に進める。

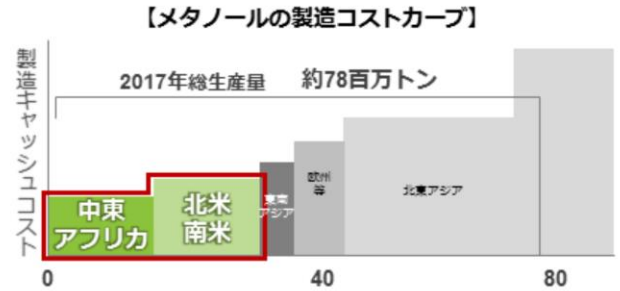
1 ボルトオン投資の実行

メタノール
事業

◆ 堅調な需要増（5-6%/年）

◆ トップクラスのコスト競争力

◆ 継続的な規模拡大を目指す

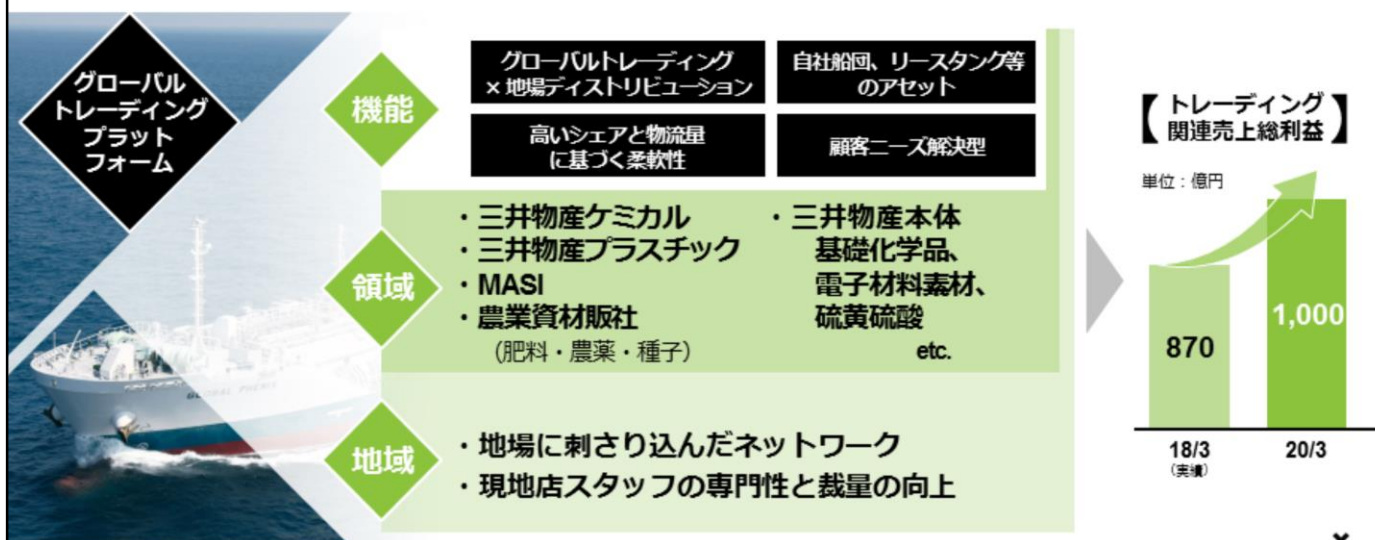


メタノール事業については、2018年3月期は好調なメタノール市況を背景に米国、サウジアラビア共に増益。

両プラント共に競争力ある原料ガスにより生産コストカーブの左側に位置、市況耐性とアップサイド・ポテンシャルを持つ。

既存事業の安定操業や規模拡大、新規案件の検討を進める。

2 トレーディングの高度化



Copyright © MITSUI & CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

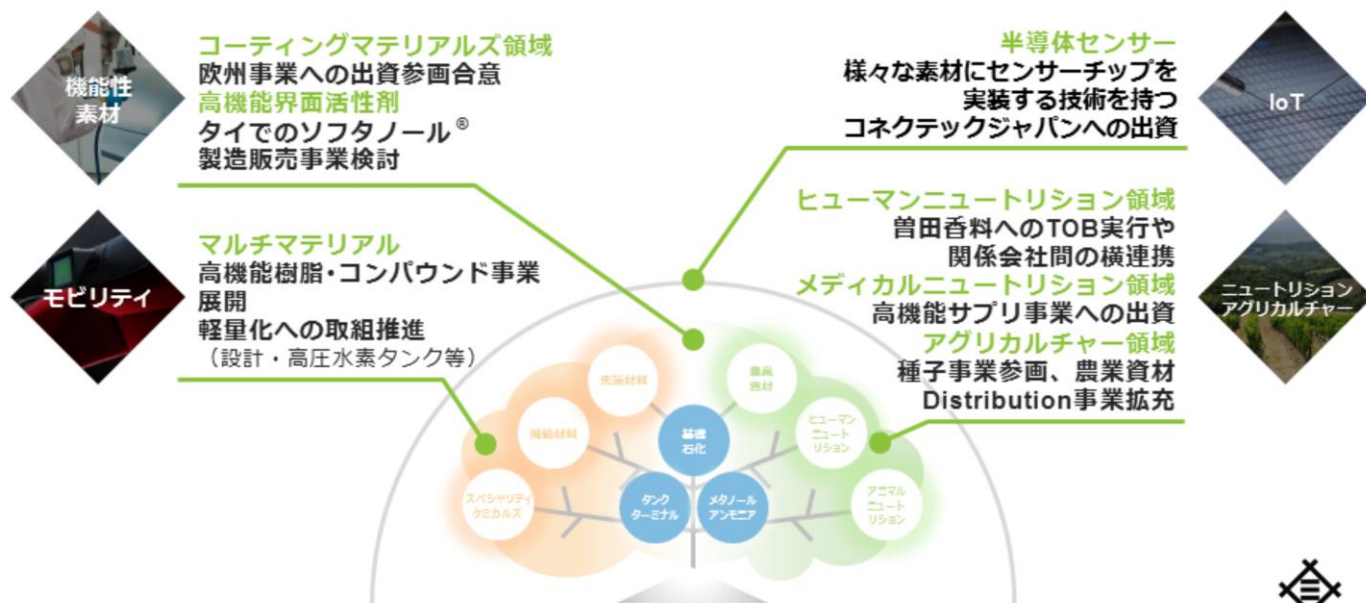
10



グローバルベース地場に刺さり込んだ地域軸と、幅広い取扱の商品軸、当社の機能軸を掛け合わせ、顧客に付加価値を提供。

当社単体のみならず、三井物産プラスチックや三井物産ケミカル、欧州硫黄硫酸販売会社Aglobis等の連結子会社においても着実に販売プラットフォームをグローバルに拡大。

3 新たな成長機会の取り込み



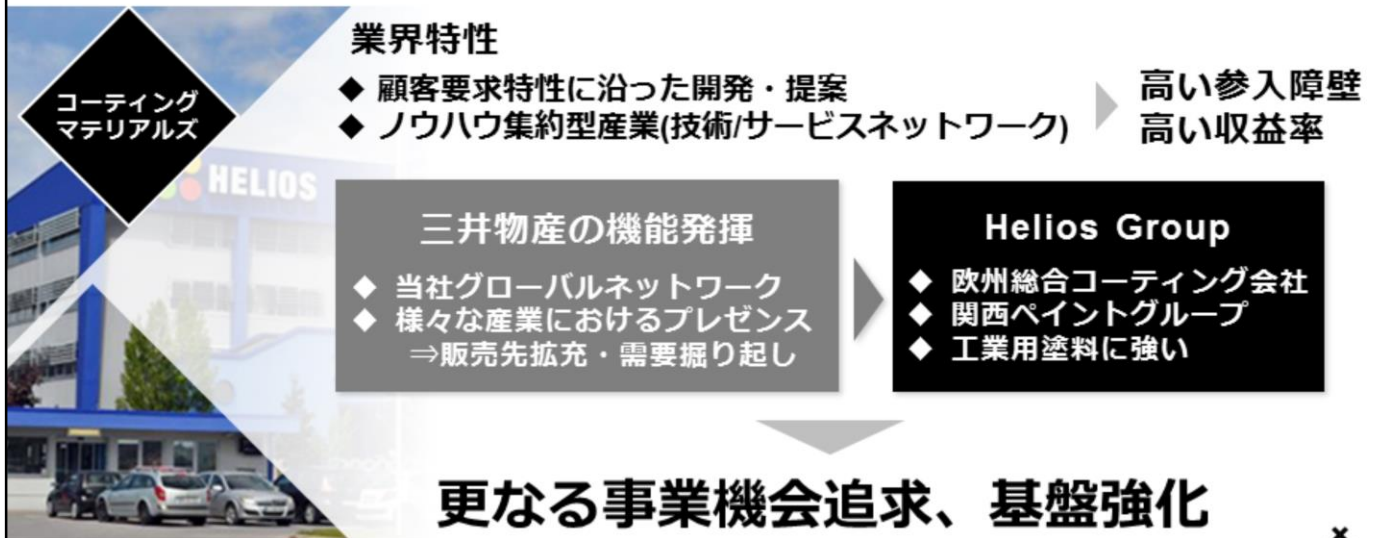
Copyright © MITSUI & CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

11



新たな成長分野では、コーティングマテリアルズや高機能界面活性剤等の機能性素材、モビリティのマルチマテリアル化、ニュートリション・アグリカルチャー領域、IoTにおける半導体センサーに関する取組み等を加速。

3 新たな成長機会の取り込み



Copyright © MITSUI & CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

12



コーティングマテリアルズ領域において、欧州Kansai Helios Groupへの出資参画について関西ペイント社と合意。

本領域は顧客の要求特性に沿ったレシピを開発・提案する、いわゆる「摺合せ、作り込み」の製造事業。ノウハウ集約型産業として新規参入は容易ではない。

機械・インフラなどの当社グループが保有する顧客などグローバルネットワークを活用して拡販。

今後も同領域において更なる投融資案件機会を追求。

3 新たな成長機会の取り込み

ニュートリション・
アグリカルチャー

- ◆ 「食」と「医」の間にある新たな領域への挑戦
- ◆ 未病対策、QoL向上、美味しさ等の
高付加価値ニーズへの対応
- ◆ 自社商品拡充を通じた農薬・種子事業展開
- ◆ 事業の高機能化、グローバル展開による
農業資材Distribution事業拡充

Copyright © MITSUI & CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

13



ニュートリション領域では、2017年11月に米国の高機能サプリメント製造販売会社への出資を実行。

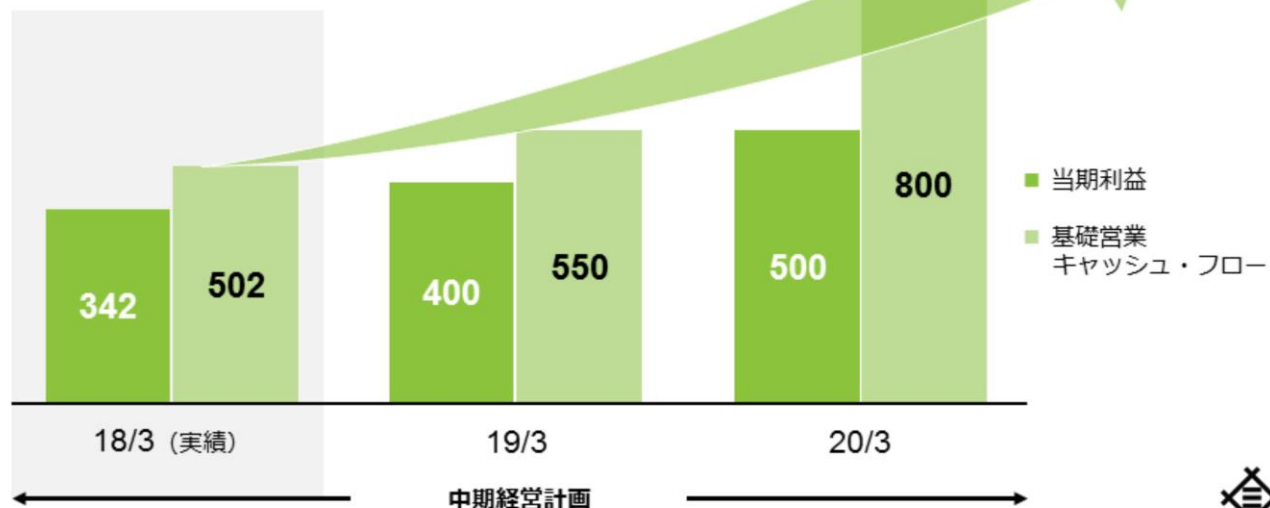
フードサイエンス領域では、東レと共に曾田香料のTOBを実行し、子会社のサンエイ糖化や物産フードサイエンスと合わせ、多様化する消費者の嗜好に対応する。

アグリカルチャー領域では、種子処理農薬買収や、野菜種子事業の買収を実行。

農業資材Distribution事業は、ETGへの出資参画やラ米事業の地域拡大を通じてグローバル展開を強化しており、当社連結グループの専門人材を活用し高付加価値型ビジネスモデルの構築等に取り組む。

目指す姿

単位：億円



Copyright © MITSUI & CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

14



2018年3月期には既存事業強化、トレーディング強化、新規領域での取組のいずれにおいても確りとした進捗。

中期経営計画目標の達成をより現実的なものとする為に、2019年3月期には各種案件の果実化・良質化を進めると同時に、成長分野への取組を加速させ、中長期的な化学品セグメントの飛躍に繋げる。